

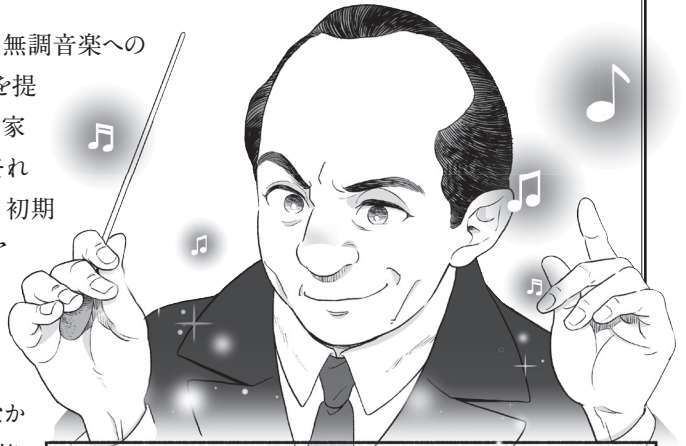
A 2024, DECEMBER
[第2025回]

おめでとう 生誕150周年!

アルノルト・シェーンベルク

Arnold Schönberg (1874–1951)

シェーンベルクといえば、無調音楽への道^{ひら}を拓き、十二音技法を提唱した人! 革新的な作曲家として知られる。ただ、それは作曲者後半生のこと。初期作品の《交響詩「ペレアスとメリザンド」》では、イメージを喚起させるモチーフや、後期ロマン派的な濃密な響きのなかで、狂気と紙一重の才能を爆発させている。



きらめく指輪、塔から垂れるメリザンドの髪
具体的なシーン描写は、
まるでゲーム音楽の先駆けのよう
イラストレーション: ©IKE



ペレアスとメリザンド

鬱蒼とした森のなか、王子ゴローは水辺で不思議な女性メリザンドに出会い、妻として娶^{めと}る。しかし、あろうことかゴローの異父弟ペレアスがメリザンドと恋仲になってしまう。ゴローは、結婚指輪をなくしたメリザンドをなじり、塔から垂れるメリザンドの髪を撫でるペレアスを非難する。そして2人の密会の場面を見て嫉妬に狂い、ついにはペレアスを殺してしまう。ペレアスを失ったショックで、メリザンドもあとを追うように息を引き取る。